

第 学年単元名	
単元 の 目 標	
最終 の 言 語 活 動	

最終の言語活動におけるやり取りのイメージ

イメージ1	イメージ2

発問の構成と具体の発問

発問	分類	場面	具体の発問
（目的・場面・状況に応じた）活用を促す発問	a 言語材料の使用		▶単元で扱う言語材料を用いて問い掛け，伝えたい事実やその時の気持ちを考えさせます。
	d 内容構成		▶目的・場面・状況に応じた伝え合う内容を考えさせます。
	e 英語表現の工夫		▶相手に適切に応じたり，自分の考えや気持ちを伝えたりするための表現を考えさせます。
	f コミュニケーションスキル		▶アイコンタクトやジェスチャーなど，相手に伝わりやすい話し方や聞き方を考えさせます。

Let’s check！ 最終の言語活動

児童にとってこんな活動になっていますか？ ☐ 興味・関心を持つことができる。 ☐ 達成感を味わうことができる。 ☐ 「誰に」「何のために」という相手意識や目的意識を持つことができる。 ☐ 事実だけでなく，自分の考えや気持ちを伝え合うことができる。 ☐ 新出の言語材料や既習表現を使って自由にやり取りの内容を工夫できる。 ☐ やり取りによって相手のことをよく知ることができる。	Let’s check！ 発問 つくった発問を確認してみましょう。 ☐ 発問によって伝えたいことを繰り返し考えさせることができますか。 ☐ コミュニケーションで使う英語表現に気付かせることができますか。 ☐ 児童の相手意識や目的意識が高まる発問になっていますか。 ☐ 児童が発問に答えられないときの支援は考えましたか。 支援例・ペアやグループで意見交流をさせよう ・過去の言語活動やチャンツなどから既習表現を想起させよう ・写真や絵カード，動画などの視覚的な提示を用意しよう
--	--

発問づくりシート

【中学校・高等学校版】

第 学年単元名	
単元の目標	
最終の言語活動	

最終の言語活動におけるやり取りのイメージ

イメージ1	イメージ2
-------	-------

発問の構成と具体の発問

発問	分類	場面	具体の発問
考えの形成を促す発問	a 言語材料の使用		▶言語材料を用いて問い掛けたり，答えさせたりします。
	b 題材についての考え		▶単元の題材に対する自分の考えを持たせます。
	c 考えの共有と再考		▶題材についての考えを共有し，他者の意見を受けて自分の考えを深めさせます。
(目的・場面・状況に応じた)活用を促す発問	d 内容構成		▶目的・場面・状況に応じた伝え合う内容を考えさせます。
	e 英語表現の工夫		▶相手に適切に応じたり，自分の考えや気持ちを伝えたりするための表現を考えさせます。
	f コミュニケーションスキル		▶アイコンタクトやジェスチャーなど，相手に伝わりやすい話し方や聞き方を考えさせます。

Let's check! 最終の言語活動

- 生徒にとってこんな活動になっていますか？
- ☐ 興味・関心を持つことができる。
 - ☐ 達成感を味わうことができる。
 - ☐ 「誰に」「何のために」という相手意識や目的意識を持つことができる。
 - ☐ 事実だけでなく、自分の考えや気持ちを伝え合うことができる。
 - ☐ 新出の言語材料や既習表現を使って自由にやり取りの内容を工夫できる。
 - ☐ やり取りによって相手のことをよく知ることができる。

Let's check! 発問

- つくった発問を確認してみましょう。
- ☐ 発問によって伝えたいことを考えさせ、伝え合う活動を行うことができますか。
 - ☐ コミュニケーションで使う英語表現に気付かせることができますか。
 - ☐ 多様な意見を踏まえて考えを深めさせることができますか。
 - ☐ 生徒の相手意識や目的意識が高まる発問になっていますか。
 - ☐ 生徒が英語による発問の意味を理解できますか。
- 支援例…日本語での発問、ペアで確認、視覚的な資料の提示

第6学年単元名	Unit3 Let’s go to Italy. 【NEW HORIZON Elementary English Course 6（東京書籍）】
単元の目標	おすすめの国やそこでできることについて, 短い話を聞いてその概要が分かったり, 考えや気持ちを伝え合ったりすることができる。
最終の言語活動	旅行代理店を開き, お客にツアープランを作ったり, 店員に自分の希望を伝えたりするために, おすすめの国やそこでできることについて伝え合う。

最終の言語活動におけるやり取りのイメージ

イメージ1 S1：Welcome to my shop. Australia is a nice country. You can see koalas and kangaroos. Do you like animals? S2：Yes, I do. I want to see koalas. S1：That’s nice. You can eat steak. It’s big. S2：That’s good. I like steak. S1：You can buy chocolate, macadamia nuts and tea. What do you like? S2：I like chocolate. S1：OK. You can see koalas. You can eat steak. You can buy chocolate.（ツアープランを見せて確認する） S2：OK. S1：Here you are.（ツアープランをプレゼントする） S2：Thank you.	イメージ2 S1：Welcome to my shop. America is a nice country. What do you want to eat? S2：I want to eat hamburgers. S1：You can eat very big hamburgers. S2：Oh, that’s nice. S1：You can see the Statue of Liberty. Do you know? S2：Yes, I do. Where (can we see)? S1：New York. S2：I see. I want to see the Statue of Liberty. S1：OK. You can buy T-shirts, potato chips , peanut butter. What do you want to buy? S2：I want to buy peanut butter. S1：OK. This is for you.（ツアープランをプレゼントする） S2：Thank you.
---	--

発問の構成と具体の発問

発問	分類	場面	具体の発問
考えの形成を促す発問	a 言語材料の使用	・SO 後のやり取り ・YT, Let’s Try ・Small Talk 導入時	▶単元で扱う言語材料を用いて問い掛け, 伝えたい事実やその時の気持ちを考えさせます。 ・What country do you like? [I like～.] ・Why do you like～? [I like～./I want to～./It’s～.] ・What food do you like? [I like～.] ・What do you want to see(eat/buy)?[I want to see(eat/buy)～.] ・What do you want to do?[I want to～.] ・What can we see(eat/buy)?[You can see(eat/buy)～.]
	d 内容構成	・第1時, 単元の導入時 伝え合いたい内容を決めるとき ・YT のやり取り	▶目的・場面・状況に応じた伝え合う内容を考えさせます。 ・旅行に行く前にどのようなことを知りたいですか。[観光地, 食べ物, お土産など] ・みなさんの好きな国には, どのような観光地や食べ物, お土産がありますか。 〔(アメリカの場合) 自由の女神, ハンバーガーなど〕
	e 英語表現の工夫	・Small Talk のデモンストレーション後 ・YT, Let’s Try のやり取り ・EC, Step3でのやり取り	▶相手に適切に応じたり, 自分の考えや気持ちを伝えたりするための表現を考えさせます。 ・会話を続けるために, 相手にどのような言葉を返していましたか。[Me, too./I see./Do you like～?など] ・観光地や食べ物などを伝えるために, どのような表現を使いますか。[You can see(eat/buy)～.] ・「きれい」や「おいしい」など, 観光地や食べ物を詳しく伝えるためには, どのような表現を使いますか。 〔It’s beautiful./It’s delicious. など〕 ・聞かれた情報について知らないときには, どのような表現で伝えますか。[Sorry./I don’t know.] ・お客さんを迎えるときは, どのような表現を使いますか。[Hello./Welcome.] ・お客さんの希望を聞くために, どのような表現で尋ねますか。[What do you like?/What do you want to～?] ・選んだ理由を伝えるために, どのような表現を付けたりしますか。[It’s～(味・様子) ./I like～.]
（目的・場面・状況に応じた）活用を促す発問	f コミュニケーションスキル	・毎時間のやり取り ・最終の言語活動前	▶アイコンタクトやジェスチャーなど, 相手に伝わりやすい話し方や聞き方を考えさせます。 ・伝え合うときの話し方や聞き方はどのようにしたらよいでしょうか。 〔アイコンタクト, 相手の反応を見ながら話す, 分かったら相づちを打つ など〕

SO…Starting Out / YT…Your Turn / EC…Enjoy Communication / OH…Over the Horizon

Let’s check！ 最終の言語活動

児童にとってこんな活動になっていますか？ ☒ 興味・関心を持つことができる。 ☒ 達成感を味わうことができる。 ☒ 「誰に」「何のために」という相手意識や目的意識を持つことができる。 ☒ 事実だけでなく, 自分の考えや気持ちを伝え合うことができる。 ☒ 新出の言語材料や既習表現を使って自由にやり取りの内容を工夫できる。 ☒ やり取りによって相手のことをよく知ることができる。	Let’s check！ 発問 つくった発問を確認してみましょう。 ☒ 発問によって伝えたいことを繰り返し考えさせることができますか。 ☒ コミュニケーションで使う英語表現に気付かせることができますか。 ☒ 児童の相手意識や目的意識が高まる発問になっていますか。 ☒ 児童が発問に答えられないときの支援は考えましたか。 支援例・ペアやグループで意見交流をさせよう ・過去の言語活動やチャンツなどから既習表現を想起させよう ・写真や絵カード, 動画などの視覚的な提示を用意しよう
---	---

発問づくりシート（例）

【中学校・高等学校版】

第2学年单元名	Unit5 Universal Design【NEW HORIZON English Course 2（東京書籍）】
単元の目標	だれもが暮らしやすい社会について考えるために、ユニバーサルデザインについて書かれた英文を読み, 読んだことを基に考えたことや感じたことを伝え合うことができる。
最終の言語活動	だれもが暮らしやすい社会について考えるために, 身近なユニバーサルデザインのものを紹介しながら, ユニバーサルデザインについて自分の考えや気持ちを伝え合う。

最終の言語活動における対話のイメージ

イメージ1 (S1 が写真を提示して) S1:Watch this picture. Do you know what this is? S2:Yes, I do. It's a train. S1:That's right. This is a train of Universal Design in America. Do you know which part is Universal Design? S2:This. S1:Yes.People and wheelchair users can sit on the same train. S2:That's nice. S1:Could you tell me about the Universal Design products? (S2 が写真を提示して) S2:In our city, we have ramps by the stairs. You can use it if you are in a wheelchair or you are pulling a heavy luggage. S1:Oh, I see. What do you think about Universal Design? S2:I think Universal Design will change our life easier. S1:I think so, too.	イメージ2 S1:What kind of Universal Design products are you interested in? (S2 が実物を提示) S2:I'm interested in a plastic bottle. S1:Why? S2:Because it has a special shape. This special shape makes us easy to hold it. S1:Oh, I didn't know that. S2:Do you want to try? S1:Yes, I do. S2:I bring a plastic bottle with a special shape and usual plastic bottle. Try to hold it. How do you feel? S1:You're right. This plastic bottle with a special shape is easy to hold. It's interesting. What do you think about Universal Design? S2: I think the idea of Universal Design help many people. S1:Me, too. I'm sure that Universal Design makes our life better.
--	--

発問の構成と具体の発問

発問	分類	場面	具体の発問
考えの形成を促す発問	a 言語材料の使用	・新出文法導入時 ・言語材料を使用した後	▶言語材料を用いて問い掛けたり, 答えさせたりします。 ・Is there anything that you can tell us how to use?-I know how to use iPad. ・What can you show us?-I can show you how to use this iPad. ・What are you sure about? -I'm sure that my brother will be back in this winter.
	b 題材についての考え	・題材の内容理解をした後	▶単元の題材に対する自分の考えを持たせます。 ・What do you see in this picture? -I can see stairs and ramps. ・What is your image of Universal Design? -Old people use the Universal Design products. ・What kind of Universal Design products are there in our life? -There are Plastic bottles and shampoo bottles. ・What do you think about the ideas of Universal Design? -I'm sure that these ideas help many people. ・What do you think about barriers for disabled people? -I think we need to remove the barriers. All the people should live safe and secure. ・What do you think about removing barriers for everyone. -I think it is good idea because we have different people in our society. ・Why is Universal Design important? -Because helping each other is important. ・What's the meaning of "Universal Design? -It means design for all people.
	c 考えの共有と再考	・題材の内容理解をした後(第5・6時)	▶題材についての考えを共有し, 他者の意見を受けて自分の考えを深めさせます。 ・What do you think? -I think～. ・What do you think about your partner's idea? -I think～.
(目的・場面・状況に応じた)活用を促す発問	d 内容構成	・第1時, 最終の言語活動の前 ・題材の内容理解をした後	▶目的・場面・状況に応じた伝え合う内容を考えさせます。 ・「ユニバーサルデザインを伝えるときは, どんなことを伝えたらよいですか。」-特徴や使い方 ・「相手に詳しくユニバーサルデザインを伝えるためには, 何を伝えればよいですか。」 -ユニバーサルデザインの良さや自分の気持ち ・「さらに詳しく知りたいときは, どうしたらよいですか?」-質問をする。 ・「ユニバーサルデザインを詳しく伝えるためには, 何をしたらよいですか。」-比較したり, 実物を見せたりする。 ・「誰にとって役立つものかを伝えるには, どうしたらよいですか。」-役立つ人の例を話す。 ・「相手に自分の考えを詳しく伝えるためには, どうしたらよいですか。」-理由を付け加える。
	e 英語表現の工夫	・毎時間のやり取り	▶相手に適切に応じたり, 自分の考えや気持ちを伝えたりするための表現を考えさせます。 ・「使い方を伝えるときは, どのような表現が使えますか。」-First, Second, Third など ・「自分の考えや気持ちを相手に伝えるときは, どのような表現が使えますか。」-I think～. I feel～. ・「相手に質問をするときは, どのような表現が使えますか。 -Do you know～. What～. Why～.
	f コミュニケーションスキル	・毎時間のやり取り	▶アイコンタクトやジェスチャーなど, 相手に伝わりやすい話し方や聞き方を考えさせます。 ・「友達や先生とやり取りをするときに大切なことは何ですか。」-アイコンタクト

Let's check！ 最終の言語活動

生徒にとってこんな活動になっていますか？ ☒ 興味・関心を持つことができる。 ☒ 達成感を味わうことができる。 ☒ 「誰に」「何のために」という相手意識や目的意識を持つことができる。 ☒ 事実だけでなく, 自分の考えや気持ちを伝え合うことができる。 ☒ 新出の言語材料や既習表現を使って自由にやり取りの内容を工夫できる。 ☒ やり取りによって相手のことをよく知ることができる。	Let's check！ 発問 つくった発問を確認してみましょう。 ☒ 発問によって伝えたいことを考えさせ, 伝え合う活動を行うことができますか。 ☒ コミュニケーションで使う英語表現に気付かせることができますか。 ☒ 多様な意見を踏まえて考えを深めさせることができますか。 ☒ 生徒の相手意識や目的意識が高まる発問になっていますか。 ☒ 生徒が英語による発問の意味を理解できますか。 支援例…日本語での発問, ペアで確認, 視覚的な資料の提示
---	--

発問づくりシート（例）

【小学校版】

第6学年単元名	Unit3 Let's go to Italy. [NEW HORIZON Elementary English Course 6 (東京書籍)]
単元の目標	おすすめの国やそこでできることについて、短い話を聞いてその概要が分かったり、尋ねたりして答えたりして考えや気持ちを伝え合うことができる。
最終の言語活動	旅行代理店を開き、お客にツアープランを作ったり、店員に自分の希望を伝えたりするために、おすすめの国やそこでできることについて考えや気持ちを伝え合う。

最終の言語活動におけるやり取りのイメージ

指導する対話表現を「対話表現集」の中の「関連する質問」と設定した例

イメージ1	イメージ2
S1: Welcome to my shop. Australia is a nice country. You can see koalas and kangaroos. Do you like animals?	S1: Welcome to my shop. America is a nice country. What do you want to eat?
S2: Yes, I do. I want to see koalas. It's cute.	S2: I want to eat hamburgers.
S1: That's nice. You can eat steak. It's big.	S1: You can eat big hamburgers. It's delicious.
S2: That's good. I like steak.	S2: Oh, that's nice.
S1: You can buy chocolate, macadamia nuts and tea. What do you like?	S1: You can see the Statue of Liberty. Do you know?
S2: I like chocolate.	S2: Yes, I do. Where?
S1: OK. You can see koalas. You can eat steak. You can buy chocolate. (ツアープランを見せて確認する)	S1: New York.
S2: OK.	S2: I see. I want to see the Statue of Liberty.
S1: Here you are. (ツアープランをプレゼントする)	S1: OK. You can buy T-shirt, potato chips, peanut butter. What do you want to buy?
S2: Thank you.	S2: I want to buy peanut butter.
	S1: OK. This is for you. (ツアープランをプレゼントする)
	S2: Thank you.

発問の構成と具体の発問

発問	分類	場面	具体の発問
（目的・場面・状況に応じた）活用を促す発問	考えの形成を促す発問	a 言語材料の使用	▶単元で扱う言語材料を用いて問い掛け。伝えたい事実やその時の気持ちを考えさせます。 ・What country do you like? [I like~.] ・Why do you like~? [I like~, I want to~, It's~.] ・What food do you like? [I like~.] ・What do you want to see/eat/buy?[I want to see/eat/buy~.] ・What do you want to do?[I want to~.] ・What can we see/eat/buy?[You can see/eat/buy~.]
	（目的・場面・状況に応じた）活用を促す発問	d 内容構成	・第1時、単元の導入時 伝え合いたい内容を 決めるとき ・YT のやり取り ▶目的・場面・状況に応じた伝え合う内容を考えさせます。 ・旅行に行く前にどのようなことを知りたいですか。[観光地、食べ物、お土産など] ・みなさんの好きな国には、どのような観光地や食べ物、お土産がありますか。 〔(アメリカの場合) 自由の女神、ハンバーガーなど〕
		e 英語表現の工夫	・Small Talk のデモン ストレーション後 ・YT, Let's Try の やり取り ・EC, Step3での やり取り ▶相手に適切に応じたり、自分の考えや気持ちを伝えたりするための表現を考えさせます。 ・会話を続けるために、相手にどのような言葉を返していましたか。[Me, too., I see., Do you like~? など] ・観光地や食べ物などを伝えるために、どのような表現を使いますか。[You can see/eat/buy~.] ・「きれい」や「おいしい」など、観光地や食べ物を詳しく伝えるためには、どのような表現を使いますか。 [It's beautiful., It's delicious. など] ・聞かれた情報について知らないときには、どのような表現で伝えますか。[Sorry., I don't know.] ・お客さんを迎えるときは、どのような表現を使いますか。[Hello., Welcome.] ・お客さんの希望を聞くために、どのような表現で尋ねますか。[What do you like?, What do you want to~?] ・選んだ理由を伝えるために、どのような表現を付けたりしますか。[It's~(味・様子), I like~.]
		f コミュニケーション スキル	・毎時間のやり取り ・最終の言語活動前 ▶アイコンタクトやジェスチャーなど。相手に伝わりやすい話し方や聞き方を考えさせます。 ・伝え合うときの話し方や聞き方はどのようにしたらよいでしょうか。 〔アイコンタクト、相手の反応を見ながら話す、分かったら相づちを打つ など〕

SO...Starting Out / YT...Your Turn / EC...Enjoy Communication / OH...Over the Horizon

Let's check! 最終の言語活動

- 児童にとってこんな活動になっていますか？
- ☒ 興味・関心を持つことができる。
 - ☒ 達成感を味わうことができる。
 - ☒ 「誰に」「何のために」という相手意識や目的意識を持つことができる。
 - ☒ 事実だけでなく、自分の考えや気持ちを伝え合うことができる。
 - ☒ 新出の言語材料や既習表現を使って自由にやり取りの内容を工夫できる。
 - ☒ やり取りによって相手のことをよく知ることができる。

Let's check! 発問

- つくった発問を確認してみましょう。
- ☒ 発問によって伝えたいことを繰り返し考えさせることができますか。
 - ☒ コミュニケーションで使う英語表現に気付かせることができますか。
 - ☒ 児童の相手意識や目的意識が高まる発問になっていますか。
 - ☒ 児童が発問に答えられないときの支援は考えましたか。
- 支援例・ペアやグループで意見交流をさせよう
- ・過去の言語活動やチャンツなどから既習表現を想起させよう
 - ・写真や絵カード、動画などの視覚的な提示を用意しよう

Step 1 単元の目標と最終の言語活動を定める

- ◎児童が興味・関心を持って伝え合いたいと思うような目的・場面・状況を設定します。
- ◆“Let's check! 最終の言語活動”でセルフチェックをしてみましょう。

Step 2 最終の言語活動でのやり取りのイメージを持ち、2例以上、具体的に書く

- ◎新出の言語材料や既習表現を活用して、児童がどのようにやり取りを展開できるかを考えます。
- ◎「対話表現集」の中から、どの対話表現が活用できるかを考えます。

Step 3 発問の分類を確認する

- ◎『考えの形成を促す発問』は、伝え合いたいことを考えさせる発問です。
- ◎『(目的・場面・状況に応じた)活用を促す発問』は、内容構成や英語表現の工夫、コミュニケーションスキル(アイコンタクト、表情等)について考えさせる発問です。

Step 4 発問を具体的に考え、記入する

- ◎「言語材料の使用」
単元で扱う言語材料を用いて問い掛けたり、答えさせたりします。
- ◎「内容構成」
目的・場面・状況に応じた伝え合う内容を考えさせます。
- ◎「英語表現の工夫」
相手に適切に応じたり、自分の考えや気持ちを伝えたりするための表現を考えさせます。
- ◎「コミュニケーションスキル」
アイコンタクトやジェスチャーなど、相手に伝わりやすい話し方や聞き方を考えさせます。
- ◆“Let's check! 発問”でセルフチェックをしてみましょう。

Step 5 発問する場면을記入する

- ◎単元を通して、どの場面で発問するかを考えます。



Q 発問をすることはなぜ大切なのでしょうか？



指示や説明が中心となる授業は、テンポよく進められます。一方で、教員主導で授業が進み、児童のやり取りは教員が示したモデルどおりのものになってしまうことがあります。教員が指示や説明に加えて「発問」を行うことは、児童が思考を働かせ、目的・場面・状況等に応じたやり取りを考える上でとても大切なことです。伝え合いたい内容や英語表現を児童自らが考えることによって、型にはまらないやり取りが生まれるのです。

発問づくりシート（例）

【中学校・高等学校版】

第2学年単元名	Unit5 Universal Design 【NEW HORIZON English Course 2（東京書籍）】
単元の目標	だれもが暮らしやすい社会について考えるために、ユニバーサルデザインについて書かれた英文を読み、読んだことを基に考えたことや感じたことを伝え合うことができる。
最終の言語活動	だれもが暮らしやすい社会について考えるために、身近なユニバーサルデザインのことを紹介しながら、ユニバーサルデザインについて自分の考えや気持ちを伝え合う。

最終の言語活動における対話のイメージ 指導する対話表現を「対話表現集」の中の「関連する質問」と設定した例

イメージ1 (S1が写真を提示して) S1: Watch this picture. Do you know what this is? S2: Yes, I do. It's a train. S1: That's right. This is a train of Universal Design in America. Do you know which part is Universal Design? S2: This. S1: Yes. People and wheelchair users can sit on the same train. S2: That's nice. S1: Could you tell me about the Universal Design products? (S2が写真を提示して) S2: In our city, we have ramps by the stairs. You can use it if you are in a wheelchair or you are pulling a heavy luggage. S1: Oh, I see. What do you think about Universal Design? S2: I think Universal Design will change our life easier. S1: I think so, too.	イメージ2 S1: What kind of Universal Design products are you interested in? (S2が実物を提示) S2: I'm interested in a plastic bottle. S1: Why? S2: Because it has a special shape. This special shape makes us easy to hold it. S1: Oh, I didn't know that. S2: Do you want to try? S1: Yes, I do. S2: I bring a plastic bottle with a special shape and usual plastic bottle. Try to hold it. How do you feel? S1: You're right. This plastic bottle with a special shape is easy to hold. It's interesting. What do you think about Universal Design? S2: I think the idea of Universal Design help many people. S1: Me, too. I'm sure that Universal Design makes our life better.
---	--

発問の構成と具体の発問

発問	分類	場面	具体の発問
考えの形成を促す発問	a 言語材料の使用	・新出文法導入時 ・言語材料を使用した後	・言語材料を用いて問い掛けたり、答えさせたりします。 ・Is there anything that you can tell us how to use? -I know how to use iPad. ・What can you show us? -I can show you how to use this iPad. ・What are you sure about? -I'm sure that my brother will be back in this winter.
	b 題材についての考え	・題材の内容理解をした後	・単元の題材に対する自分の考えを持たせます。 ・What do you see in this picture? -I can see stairs and ramps. ・What is your image of Universal Design? -Old people use the Universal Design products. ・What kind of Universal Design products are there in our life? -There are Plastic bottles and shampoo bottles. ・What do you think about the ideas of Universal Design? -I'm sure that these ideas help many people. ・What do you think about barriers for disabled people? -I think we need to remove the barriers. All the people should live safe and secure. ・What do you think about removing barriers for everyone. -I think it is good idea because we have different people in our society. ・Why is Universal Design important? -Because helping each other is important. ・What's the meaning of "Universal Design"? -It means design for all people. ・題材についての考えを共有し、他者の意見を受けて自分の考えを深めさせます。
	c 考えの共有と再考	・題材の内容理解をした後（第5・6時）	・What do you think? -I think～. ・What do you think about your partner's idea? -I think～.
（目的・場面・状況に応じた）活用を促す発問	d 内容構成	・第1時、最終の言語活動の前 ・題材の内容理解をした後	・目的・場面・状況に応じた伝え合う内容を考えさせます。 ・「ユニバーサルデザインを伝えるときは、どんなことを伝えたらよいですか。」-特徴や使い方 ・「相手に詳しくユニバーサルデザインを伝えるためには、何を伝えればよいですか。」-ユニバーサルデザインの良さや自分の気持ち ・「さらに詳しく知りたいときは、どうしたらよいですか。」-質問をする。 ・「ユニバーサルデザインを詳しく伝えるためには、何をしたらよいですか。」-比較したり、実物を見せたりする。 ・「誰にとって役立つものかを伝えるには、どうしたらよいですか。」-役立つ人の例を話す。 ・「相手に自分の考えを詳しく伝えるためには、どうしたらよいですか。」-理由を付け加える。 ・相手に適切に応じたり、自分の考えや気持ちを伝えたりするための表現を考えさせます。 ・「使い方を伝えるときは、どのような表現が使えますか。」-First, Second, Third など
	e 英語表現の工夫	・毎時間のやり取り	・「自分の考えや気持ちを相手に伝えるときは、どのような表現が使えますか。」-I think～. I feel～. ・「相手に質問をするときは、どのような表現が使えますか。」-Do you know～. What～. Why～.
	f コミュニケーションスキル	・毎時間のやり取り	・アイコンタクトやジェスチャーなど、相手に伝わりやすい話し方や聞き方を考えさせます。 ・「友達や先生とやり取りをするときに大切なことは何ですか。」-アイコンタクト

Let's check! 最終の言語活動	Let's check! 発問
生徒にとってこんな活動になっていますか？ ☒ 興味・関心を持つことができる。 ☒ 達成感を味わうことができる。 ☒ 「誰に」「何のために」という相手意識や目的意識を持つことができる。 ☒ 事実だけでなく、自分の考えや気持ちを伝え合うことができる。 ☒ 新出の言語材料や既習表現を使って自由にやり取りの内容を工夫できる。 ☒ やり取りによって相手のことをよく知ることができる。	つくった発問を確認してみましょう。 ☒ 発問によって伝えたいことを考えさせ、伝え合う活動を行うことができますか。 ☒ コミュニケーションで使う英語表現に気付かせることができますか。 ☒ 多様な意見を踏まえて考えを深めさせることができますか。 ☒ 生徒の相手意識や目的意識が高まる発問になっていますか。 ☒ 生徒が英語による発問の意味を理解できますか。 支援例…日本語での発問、ペアで確認、視覚的な資料の提示

Step1 単元の目標と最終の言語活動を決める

- ◎生徒が興味・関心を持って伝え合いたいと思うような目的・場面・状況を設定します。
- ◆“Let's check! 最終の言語活動”でセルフチェックをしてみましょう。

Step2 最終の言語活動でのやり取りのイメージを持ち、2例以上、具体的に書く

- ◎新出の言語材料や既習表現を活用して、生徒がどのようにやり取りを展開できるかを考えます。
- ◎「対話表現集」の中から、どの対話表現が活用できるかを考えます。

Step3 発問の分類を確認する

- ◎『考えの形成を促す発問』は、題材について自分の考えを持たせたり、他者と意見を共有し、自分の考えを深めさせたりする発問です。
- ◎『（目的・場面・状況に応じた）活用を促す発問』は、内容構成や英語表現の工夫、コミュニケーションスキル（アイコンタクト、表情等）について考えさせる発問です。

Step4 発問を具体的に考え、記入する

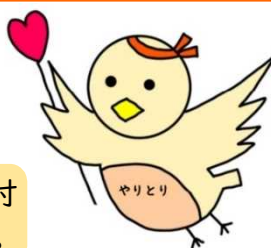
- ◎「言語材料の使用」
言語材料を用いて問い掛けたり、答えさせたりします。
- ◎「題材についての考え」
単元の題材に対する自分の考えを持たせます。
- ◎「考えの共有と再考」
題材についての考えを共有し、他者の意見を受けて自分の考えを深めさせます。
- ◎「内容構成」
目的・場面・状況に応じた伝え合う内容を考えさせます。
- ◎「英語表現の工夫」
相手に適切に応じたり、自分の考えや気持ちを伝えたりするための表現を考えさせます。
- ◎「コミュニケーションスキル」
アイコンタクトやジェスチャーなど、相手に伝わりやすい話し方や聞き方を考えさせます。
- ◆“Let's check! 発問”でセルフチェックをしてみましょう。

Step5 発問する場면을記入する

- ◎単元を通して、どの場面で発問するかを考えます。



Q 語彙や文法の指導は説明が中心になっています。生徒が理解したことや身に付けた表現を実際に活用するために、どのような指導をすればよいのでしょうか。



中学校学習指導要領解説外国語編には、「語彙や文法等の個別の知識がどれだけ身に付いたかに主眼が置かれるのではなく、児童生徒の学びの過程全体を通して、知識・技能が、実際のコミュニケーションにおいて活用され、思考・判断・表現することを繰り返すことを通じて獲得され、学習内容の理解が深まる」と述べられています。語彙や文法を指導する際に発問を通して生徒に問い掛け、理解した知識や身に付けた技能をどう使うかを生徒自身に考えさせることは、思考力・判断力・表現力等の向上につながります。さらに、生徒同士のやり取りを設定し、実際のコミュニケーションの機会を作ること大切で。Small Talkなどの活動を設定すれば、多くの時間をかけなくても取り組むことができますよ。